

爺ヶ岳 南尾根（柏原新道ではないよ）

2013年2月9日(土)～2月11日(月)

リーダー：柴田、大山、廣瀬、坂野

2月9日（晴れ）

山頂付近は時折ガスがかかるものの基本的に晴天。

大町アルペンラインゲートを出発し、1時間弱で南尾根に到着。

取り付きは尾根の東側を巻くが最初の50mがかなりの傾斜。

斜面にピッケルをシッカリと刺し、木に掴まりながら登る。

尾根に乗ると、適度な傾斜で、ワカンで進む。

この付近で積雪は60cm程、上層20cmは柔らかく、その下層は適度に締まっており歩きやすい。

1400m付近から下層が硬くなり、滑落を危惧してアイゼンに替える。

1986mより上は傾斜は緩いものの、クラストした雪面と、低木の落とし穴で手を焼く。

2000m手前と、2050m手前のガケ印付近は5mほどの急斜面で、木登りと細引きのゴボウでクリアする。

2050mからは広い尾根の雪面で、幕営好適地である。2100mからの斜面手前で幕営。

08:00 ゲート

08:45 尾根取り付き

12:00 1895m

14:30 2080m付近 幕営

2月10日（雪）

4時の起床時には星も見えていたが、出発の6時頃には横殴りの雪が降り出す。

2150mの付近で1箇所、細い尾根の斜面で細引きを出す。

柏原新道とのジャンクションピーク直下50mは、樹木の無い雪の斜面で、目印の旗を立てる。

ジャンクションピークから緩傾斜で、広い雪面となるため幕営が可能。

2350mから樹林を抜け、一部夏道が露出したクラスト斜面になる。

北西から吹く強風の中、耐風姿勢をとりながら1時間30分で爺ヶ岳南峰に到着。

あまりの寒さに記念撮影もそこそこに下山を開始。2300mの樹林帯まで戻りホッと一息つく。

11時30分にテント場到着

06:00 2080m付近

09:30 爺ヶ岳南峰

11:30 2080m付近

2月11日（雪）

昨日から雪が降り続けており、下りのトレースも一部を除きほぼ埋まっている。

登りで手間取った2箇所急斜面は、問題無くクリアしたものの、1896mからの広い尾根で進行方向が定まらない。

特に1666mから下は、東南東への尾根が、主尾根らしく見えるため、頻りにコンパスで方向確認しながら進まないといけない。

赤テープがあれば登りに付けておいたほうが良いだろう。

06:30 2080m付近

09:30 大町アルペンライン

10:00 ゲート

廣瀬 記